

目標達成計画

事業所名 グループホーム桜木さん・明和

作成日: 平成 21年 12月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	介護計画は、利用者にとって日常のより良いケアのための方針である。職員全員で現状をモニタリングし計画を見直す。	計画作成者と介護職員との間で状況の変化について意見をだしあい 今後の計画の礎とする。	毎月、カンファレンスを開催し 意見交換の場を設ける。	4 か月
2	3	運営推進会議は外部の人から意見を聞いたり、地域の理解や支援を得るための貴重な機会と考え、2か月に1回は開催する	定期的に関係部署に連絡を取り、関係部署に連絡を取り、双方時間の空いている日に開催する	定期的に関係部署に連絡を取り、関係部署に連絡を取り、双方時間の空いている日に開催する	6 か月
3	13	夜間を想定した2階からの実践的な避難訓練や、災害は地震、台風、水害等もあり避難場所の確認など、全ての災害の対策をする。	消防に来ていただき、現状の不備を確認、必要と考える訓練を実施する。又、一番近い避難場所を確認し移動方法を模索する。	日中での避難訓練を実施。また、夜勤をされる方においては、初期消火として、消火器の取扱について指導する。	4 か月
4	12	重度化の対応や終末期のあり方については早い段階から方針を決め職員全体で方針を共有する。	終末期の迎え方を家族様と面談し、終末期を迎えるまでに、方針を作成し実践できるようにする。	看取りも踏まえ、追加の契約書を作成中。	8 か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。